

令和５年度 第１回港区区政会議 こども青少年部会 議事録

- 1 日 時 令和５年６月２６日（月）午後７時～
- 2 場 所 港区役所５階会議室
- 3 出席者（委 員）対面：井本委員、ヴィダル委員、染矢委員、平井委員
WEB：高満委員、中西委員
（関係者）対面：港区青少年指導員連絡協議会 奥村氏
港区PTA協議会 藤田氏
南市岡小学校 木村校長、築港中学校 西中校長
（港区役所）対面：山口区長、若林副区長、早川教育担当課長、
桐谷窓口サービス課長、五十嵐総合政策担当課長、
長谷川窓口サービス課長代理
WEB：村上協働まちづくり推進課長代理
- 4 議 題 （１）令和４年度の施策・事業の評価について
（２）その他
 - ・港区の学校適正配置説明会について
 - ・「OSAKAみなと未来教育ネットワーク」について

○長谷川窓口サービス課長代理 皆様、こんばんは。定刻より少し早いですけれども、時間となりましたので、ただいまより港区区政会議こども青少年部会を開催させていただきます。

私は4月に窓口サービス課長代理に着任しました長谷川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

区政会議につきましては、条例の規定により、委員の2分の1以上の出席により成立することとなっており、オンラインでの参加も含むこととなっております。

現在の出席状況を報告させていただきます。委員の定数が6名のところ、6名の出席をいただいております。委員の2分の1以上の出席がございますので、有効に成立していることをご報告いたします。

また、本会議は公開としており、後日会議録を公表するため、会議の内容を録音させていただき、ご発言の際はマイクの使用をよろしくお願いいたします。

会議中、少しでも体調に異変がございましたら、遠慮なくおっしゃってください。よろしくお願いいたします。

なお、区政会議の当部会は、大阪市の分権型教育行政の仕組みとして、保護者や地域の方から広くご意見をいただきながら教育行政を進めるための港区教育会議を兼ねております。

まず、今回、年度が替わったことにより、関係者であります幹事校長が変わられたのでご紹介させていただきます。

築港中学の西中校長先生です。

○西中校長 よろしく申し上げます。

○長谷川窓口サービス課長代理 小学校の幹事校長は築港小学校の河田校長先生ですが、本日、学校行事のため欠席で、代理出席で南市岡小学校の木村校長先生に出席いただいております。

○木村校長 南市岡小学校の木村です。よろしくお願いいたします。

○長谷川窓口サービス課長代理 続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。

事前に送付させていただいた資料が資料A、令和4年度運営方針自己評価の概要版、資料B-1、児童生徒数及び学級数の推移と各校区の地図、資料B-2、OSAKAみなと未来教育ネットワークのホームページとなっております。資料B-3、学校園における働き方改革のチラシとなっております。

次に、当日配付資料が次第、資料一覧表、部会委員名簿、配席図、港区人権啓発だより・ヒューマンハート、OSAKAみなと未来教育ネットワーク募集用のチラシ、港区学校適正

配置説明会についての広報紙及びホームページの案となっております。

なお、保健福祉課で作成しています福祉いろいろガイドブックを参考資料としてお配りしておりますので、またご覧いただければと思います。

以上の資料を使用して議事を進めたいと考えております。事前配付資料はお持ちいただいておりますでしょうか。ない方がいらっしゃいましたら、挙手でお知らせ願います。

本日は議題1、令和4年度の施策・事業の評価について、議題2として、その他の2点となっております。全て説明は短めに、議論や質疑を長めにとってまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

また、本日の会議時間は1時間とし、午後8時に終了を予定しております。

それでは、議題に入る前に山口港区長よりご挨拶申し上げます。

○山口区長 皆さん、こんばんは。

月曜日のお忙しいときに、平日のお仕事、またご家庭の用事でお忙しい時間帯にもかかわりませずお集まりいただきありがとうございます。

コロナも5月からはインフルエンザと同様、第5類の感染症に移行され、ようやく地域活動、イベントも再開されてきています。

今年度最初の区政会議こども青少年部会ですが、今回の部会、全体会をもって、皆様方、一旦任期が終了ということになりますので、今回がこのメンバーとしては最後の部会となります。

ぜひ、この機会にどのようなことでも構いませんので、区役所に言っておきたいということがあれば、忌憚のないご意見をいただければと思っています。

本日は令和4年度の施策・事業の評価や港区の教育に関する課題や取組についてご意見をいただきたいと考えております。

教育に関しましては、増加している不登校児童・生徒への対応や居場所づくり、キャリア教育など多様な学びの提供、また全学年単学級となっている小規模校に関する適正化の検討など様々な課題がございます。

小規模校に関しましては後ほど説明もあると思いますが、夏には学校再編に向けた説明会も実施していきたいと考えているところです。

また、こういった資料、「福祉いろいろガイドブック」というのがありますが、これは前の子育て支援の担当課長が最後の置き土産ということで、一生懸命つくって出ていったものです。実は行政というのはいろいろな相談窓口や施策を持っているんですけれども、なかなか

かそれが当の当事者の人に伝わらないという課題があります。このガイドブック、いろいろな場面で困っている人に届くように私たちもまたしっかり普及していきますので、今回参考資料にお配りしました。

と申しますのも、やはり虐待による死亡事案という、最近もニュースになっていましたけれども、なかなか無くならない。いつも思うのですけれども、ニュースで取り上げられるたびにみんな、かわいそう、なんてひどいことをと言うのですけれども、またそこで終わってしまうというか、その一歩先になかなか行かないでまた繰り返されるというその状況を少しでも変えたいと思って私たちも頑張っています。ぜひ区役所も一生懸命頑張りますので、また地域の目として、子どもたちに関わる大人の一人として、またこういった情報も知っていただけたらうれしいなと思っています。

限られた時間ではありますけれども、ご意見をたくさんいただいて今後の区政運営に生かしてまいりたいと考えておりますので、今日はどうぞよろしくお願いします。

○長谷川窓口サービス課長代理 ウェブで参加されている方につきましては、また福祉いろいろガイドブックは後ほど送付させていただくという形になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ここから染矢議長に議事進行をよろしくお願いいたします。

○染矢議長 皆様、こんばんは。染矢でございます。議長として進行役を務めさせていただきます。

区民の意見、ニーズを区政に反映していくためにも、積極的にご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題に入ります。

議題１、令和４年度の施策・事業の評価について、区役所から説明をお願いいたします。

○早川教育担当課長 教育担当課長の早川です。よろしくお願いいたします。

座らせていただきます。

議題１、令和４年度の施策・事業の評価につきましては、事前配付資料、令和４年度運営方針自己評価の概要版のほうをご覧ください。

事前に資料を送付させていただいておりますので、当部会に関連する部分についてのみの説明とさせていただきます。

まず、３ページ目の戦略１－１、豊かなコミュニティの促進の（４）ひと・まち・まなびをつなぐ生涯学習の推進につきまして、令和４年度はまだコロナの影響で、地域での生涯学

習活動の実施が難しい状況にありました。ただ、年度の後半には感染も収まってきていたので、徐々に活動も再開され、2月26日には4年ぶりに「春いちばんふれあいフェスティバル」を開催することができました。

今後はアフターコロナを踏まえながら、各地域の取組を支援するとともに、多様な広報媒体を活用して人と人とのつながりづくりの大切さについて幅広く情報発信していくこととしております。

次に、飛びまして9ページ、戦略3－5、多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進の（1）区における人権啓発推進・人権相談につきまして、区民モニターの結果において、人権啓発事業については役立っているという結果にはなっていますが、「一人ひとりの人権が尊重されているまちである」とお答えになった割合は目標よりも少なくなっています。こうしたことから、引き続き、他区と連携した人権展での啓発や「やさしい日本語」の普及、地域と共に多文化共生に取り組むなどして人権啓発に努め、指標の達成を目指していきたいと思っております。

港区の人権啓発の取組として、本日お配りしている資料の中に港区人権啓発だより・ヒューマンハートVOL.15というのがあるので、そちらのほうをご覧くださいませでしょうか。

表紙には、昨年度実施した人権の取組を月ごとに紹介しています。

ページをめくっていただいて、左側は毎年、西区、大正区、港区と浪速区で共催で実施しております人権展で、昨年度は港区が幹事区となり実施してまいりました。

コロナが流行してからは、人権展をタブロイド紙やホームページによる啓発としておりますが、従来までの会場来場型よりも幅広く数多くの方にご覧いただけることから、人権意識の高揚を図ることができたと考えています。

右のほうのページですが、LGBTQの当事者や友人等と港区役所とで実施しているLGBTQの取組を紹介させていただいています。

裏面のほうですけれども、やさしい日本語についてですが、コロナも収まりつつあり、今後、万博を迎えるに当たり、外国からの移住者等も多くなっていることから、やさしい日本語の普及啓発として、昨年度の区民まつりで実施した多文化カフェなどの紹介を掲載しています。また、その下のほうには里親制度についても紹介をさせていただいています。この詳しい内容につきましては、改めてご覧いただければと思いますが、今後もさらに人権啓発に努めてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

また次、運営方針自己評価の概要版、先ほどの資料のほうに戻っていただけますでしょうか。

か。

10ページ目の戦略4-1、「子どもの学び」の応援につきましては、港区の生徒、児童は1日当たりの家庭での勉強時間も少なくなっており、港区の学校の学力向上も課題となっているところです。

また、この間、コロナ禍の影響もあり、自習室の開設ができておりませんでした。今年度、令和5年度には、夏休みの居場所及び勉強の場として、質問に対応できるスタッフも配置した自習室を夏休みに開設して、学習意欲の向上にもつなげていきたいと考えています。

また、将来への夢や希望の育成に向けたキャリア教育など、様々な手法で多様な学びの応援に取り組んでいきます。

また、小規模校であることによる様々な課題の解消・軽減と、よりよい教育環境の整備に向け、保護者や地域と対話をしながら検討していくこととしています。この小規模校の件につきましては、議題2のほうで別途説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

議題1の説明については簡単ですけれども以上です。

○染矢議長 ありがとうございました。

それでは、この案件についてご意見、ご質問を賜りたいと思います。どなたかございますか。

それでは、副議長のほうからお願いいたします。

○ヴィダル副議長 すみません、ヴィダルと申します。よろしくお願いします。

議長からご指名をいただきましたので、質問を頑張らせていただきます。

人権について触れていただいたんですけれども、満足する結果にはなっていないということではあるんですけれども、人権というと、言葉が非常に独り歩きしやすいというか、SDGsであつたりとか、ヒューマンハートにもありました沖縄の問題であるとか、いろいろ多岐にわたると思うんですけれども、アンケートを取った中で、何について満足されていないのか。例えばSDGsについてはとても納得しているけれども、いわゆるLGBTQに関しては駄目だからいけないと思うというふうに出ているのか、ただ単に人権というものに対して満足、不満足という形で出ているのか、お聞かせいただけますでしょうか。

○早川教育担当課長 すみません、この結果につきましては、区政モニターのほうでアンケートを取っていますので、個々の細かいところまではこのアンケートでは分かりかねるところがありますので、また調べて、何かそういう結果があるかどうかを調べて、分かりました

らまた連絡させてもらいます。

○ヴィダル副議長 ありがとうございます。

あとすみません、もう一ついいですか。やさしい日本語の取組で、もうご存じの方も多いですがけれども、私、主人が外国出身の者で、個人的にはやさしい日本語について外国人の方に対してというところで一番自分の存在価値があるのではないかと勝手に思っているんですけれども、家電量販店で勤務をしていることもありまして、特に今、インバウンドが非常に増えてきている。ただ団体ではなく個別で来る方が非常に以前のインバウンドの風潮と変わって、旅行のスタイルが変わっている。ガイドさんがつかないので、通訳がついてこないというところがありまして、今、皆さん、どこでも海外の方も日本の方もスマートフォンを大体お持ちで、翻訳アプリがほぼ普及している状態なので、店舗のほうでそこまで困ることではないんですけれども、例えばスマートフォン、お客様のものを使うわけにもいきませんし、区役所の方のスマートフォンを出すわけにもいきませんし、ただポCKETークとか非常に今、いろいろスペイン語とか中国語、韓国語とかいろいろパンフレットをご用意していただいているのは非常に分かるんですけれども、それ以外のちょっとメジャーではない、なかなか文章にしづらい外国語の方もいらっしゃると思います。港区は特に今、外国の方から流入が多いので、そういうちょっと知識不足だったら申し訳ないんですけれども、ツールとかそういうアプリで、より細かい言語に対応して細かい内容を伝えやすい、または聞き取りやすいというふうなもののご利用とかは今、区役所ではされておりますでしょうか。

○早川教育担当課長 今のヴィダルさんと同様のお話を先ほど築港中学の西中先生のほうからもいただきまして、学校のほうでも、まさにこういうものを何か区役所を通して使えるようにしてもらえないかということで先ほどお話がありました。

○ヴィダル副議長 すみません。

○早川教育担当課長 学校だけでなく何らかの形で、まさにヴィダルさんがおっしゃるとおりですので、できる範囲で何らかの対応をしたいと思います。

○山口区長 ちょっと聞いていいですか。八幡屋の防災訓練のときに使っていたのはスマホのアプリだったかな。

○五十嵐総合政策担当課長 スマホのアプリです。

○山口区長 外国人の方とか、避難訓練をして地域の方がまた覚えて、使い方を覚えて実際に使ってみる避難訓練というのもやっていたりとか様々ありますので、学校に導入するというのも、別の区では、生野のときに買ったりもしていたので、また予算の兼ね合いはあるんで

すけれども、いろいろ調べてみたいと思います。ありがとうございます。

○染矢議長 ありがとうございます。

ほかにご意見など何かありませんでしょうか。

それでは、次に議題２、その他の港区の学校適正配置説明会について、区役所より説明をお願いいたします。

○早川教育担当課長 それでは、事前配付資料のＢ－１、児童生徒数及び学級数の推移と裏面に各校区の地図が載った資料のほうをご覧くださいませでしょうか。

表のほうですけれども、港区の小学校につきましては、八幡屋小学校、港晴小学校、池島小学校、築港小学校はここ何年もの間、全学年単学級となっています。黄色で塗っている部分ですけど、小学校につきましては、大阪市立学校活性化条例において、単学級となっている学校については再編整備計画を作成し、適正規模に再編する必要があります。

また、中学校につきましても、築港中学は全学年単学級で、大阪市で一番生徒数が少ない学校となっており、中学校についての文部科学省の考え方では、各学年３学級以上が先生の数とかも考えれば望ましいということになっています。また、港中学校についても、この３学級以上ということを考えれば小規模となっています。

令和３年度の区政会議のときに前任の筋原区長が再編についてお話しされ、今後検討していく必要があります、皆様の意見もお聞きしながら検討していく旨を発言され、その後、内部の検討を進めてきているところです。

また、この間、対象校のＰＴＡの役員の方などと意見交換を行ってきましたが、その中の意見としましては、早く再編をしてほしいとか、このままの学校がいいとか、具体的な案を示してもらいたい、また通学路の安全面を考慮してほしい、あと人口を増やすための取組が必要など様々なご意見をいただいております。

まだ今の段階では再編の具体的な案について検討を進めているところで、今日の会議の場においては、そういう案はまだお示しできませんが、夏休みまでに意見交換ができる資料を作成することとしています。

次に、本日配付の港区学校適正配置説明会についての広報紙とホームページの案の資料をご覧ください。

７月１日発行の広報紙「広報みなと」において、山口区長のコラムでも紹介しておりますが、「港区では、１学年１学級の小規模校が課題となっており、小中学校の再編に向けた検討が必要です。区役所と教育委員会では、夏休み中に説明会の開催を予定しており、日時・

場所等の詳細が決まり次第、ホームページに掲載しますので、ご確認ください。」と掲載しています。

また、その後ろにホチキス留めでつけているんですけど、説明会の日程が決まりましたら、ホームページのほうにも掲載いたします。また、案内チラシを学校や区役所等でも配布し周知していきますのでよろしくお願いいたします。

この説明会についての説明は以上です。よろしくお願いいたします。

○染矢議長 ありがとうございます。

では、この件につきまして何かご意見、ご質問などはありませんでしょうか。

○平井委員 皆様、こんばんは。港区PTA協議会の平井と申します。

先ほどご説明いただきました統廃合の件に関しまして、私のほうとあとは副会長の藤田さんのほうで全ての会議に出席をさせていただいておりますので、前回、区政会議のほうで池島、八幡屋、港晴、こちらの小学校に関しての会議の中身のほうはご報告をさせていただきましたので、本日はそれ以降に開かれました築港小学校、そして築港中学校、港中学校、こちらのご意見等に関しまして少しご報告させていただければと思っております。

まず、築港のほうの小学校、中学校さんに関してなんですけれども、こちらのほうはすごく地域に関して残したいというご意見が非常に強くて、一つの要因としましては、先ほどもおっしゃっていただきましたまずは通学路の問題、小学生に関しては非常に大きな車とかが通る中で通わせるのは心配だということと毎日坂を上って川を渡ってというので、小学校1年生には少しきついのではないかなというような問題等もありまして、築港の中にぜひ小学校、中学校は残してほしいというような意見が出ておりました。その中で残すに当たって何かいい方法がないのかというところで、最近多いこちらの支援教室、こういったところの支援学級のほうの生徒さん向けの何か特別に手厚く対応していただけるような学校としてはどうなのかとか、あとは学校の中に例えば小学校であれば幼稚園の併設、また中学校であればインターナショナルスクールの併設、こういったことも考えられないのかというような意見も出ていたのではなかったかと思っております。どちらにしろ、小学校、中学校ともに、ぜひ築港にはなくてはならない場所であるというような意見が強かったです。

港中学校に関しましては、こちらはどちらかというと、多分統廃合されたときに受け入れる側という意識が恐らくあられるのか、特別こうありたいというのはなかったような感じだったんですけれども、その中でもやはり意見が割れている中でも、通学路の問題であるとか、あとは地域の問題であるとか、そういったところは出ていたのかなと思っております。どち

らにしろ、自分たちのいるときには実現をしないというところが大きな問題としまして、今後、早くガイドラインを描いていただいて、今度入ってくる子どもたちがそれをもって選べるような体制を整えてほしいというような希望もあったと思っておりますので、こちらは区役所様のほうで、ぜひとも次の会議のときにはこういう方向性であるというガイドラインを示していただければと思っております。

私のほうからの報告は以上となります。

○早川教育担当課長 ありがとうございます。

今、平井会長からありましたように、今後また説明会、意見交換をしていく中で、幅広い未就学児のお子さんとかをお持ちの保護者の方とか、幅広く意見を聞いていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○染矢議長 それでは、「次のOSAKAみなと未来教育ネットワーク」について、区役所より説明をお願いします。

○早川教育担当課長 次の案件ですけど、事前配付資料のB-2、「OSAKAみなと未来教育ネットワーク」のホームページのコピーと本日配付資料の「OSAKAみなと未来教育ネットワーク」募集用チラシの2点をご覧くださいませでしょうか。

「OSAKAみなと未来教育ネットワーク」についてでございますが、港区では、港区まちづくりビジョンの5つの柱の一つとして、「『まちぐるみで子育て』、『多様な学び』を応援するまちづくり」を掲げております。

港区内の大阪市立の小学校・中学校の育ちや学びを支える「産官学＋地域」の連携したネットワークを開設することで、それぞれの企業・団体が提供できる出前授業や職業体験・教材等の提供や多忙な学校現場の支援を図ってまいります。

特に、多様な働き方、多様な大人のモデルに義務教育の間に出会うことは、子どもたちの将来の可能性を広げます。子どもたちの職業観や視野を広げる機会として、協力いただける企業等に参画いただきます。

チラシのほうの裏面には、「OSAKAみなと未来教育ネットワーク」の登録から実施の流れを図のほうで示させていただいています。前のほうにも映させていただいています。

基本的には無償でご提供いただける範囲でお願いしていますが、個別にご相談いただくこともしています。

現在、登録事業者、団体等の募集を開始し、既に数社から申請が来ているところで、今後働きかけをしていきます。

もし、このような取組にご賛同いただけそうな企業や団体にお心当たりがあるようでしたら、ぜひご紹介いただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

続いて、最後にもう一点、事前送付資料のB-3、学校園における働き方改革のチラシのほうをご覧くださいませでしょうか。

大阪市では教員の長時間勤務が大きな課題となっています。勤務時間を除く在校等の時間が年間360時間を超える教員の割合が50.9%、月80時間を超える教員が3.4%となっています。

下に、横山市長のメッセージとして、「子どもたちのためなら長時間の勤務でも構わないという働き方は、高い使命感から生まれるものであったとしても、その働き方で教員が疲弊していくのであれば、結果的には子どもたちのためにはなりません。教員が子どもたちの前で健康で生き生きと仕事をする、教員が子どもたち一人一人に向き合う時間を確保する、働き方改革の全ては子どもたちのためにつながっています。学校園の働き方改革を進めていくためには、保護者の皆様や地域の皆様のお力添えがなければ実現できないものがたくさんあります。未来を担う子どもたちのため、どうか、学校園の働き方改革の取組にご理解とご協力をお願いいたします。」との市長からのメッセージです。

あと裏面にありますように、学校では現在、紙による通知を減らして、保護者宛ての通知文や欠席連絡などにアプリを利用することによって教員と保護者、双方の負担軽減を図っております。また、部活動指導の軽減や行事参加の見直し等も掲げられております。学校園における働き方改革について、保護者や地域の方のご協力をよろしくお願いいたします。

説明は以上です。

○染矢議長 では、この件につきまして何かご意見、ご質問などはありませんでしょうか。

○井本委員 すみません、港晴地域の井本と申します。よろしくお願いいたします。

この3番の部活動の指導とあるんですけれども、中学校の部活を外部に委託するという話をニュースで聞いたことがあるんですけれども、うちの娘はもう卒業して5年ぐらいたつんですけれども、ソフトボールをしまして、クラブチームに行っていました。今ちょうど大阪府の中学生の女子のソフトボールの全国大会の予選をしているんですが、それはクラブチームと中学校の試合というか、その中から全国大会に出られるチームを選ぶのですけれども、今年のチームを見ていますと、何とかクラブというのがすごく増えたんです。これは私学なんですけれども、四條畷学園なんかも中学校だったのが今年からクラブになって、四條畷学園クラブというふうに登録されていて、箕面のほうにもなかったクラブチームができていたりとかして、少しずつ中学校ではなく外部のクラブチームというものがすごく増えてき

たなというのを感じています。

港区でいったら、うちもソフトボール部がなかったので外部のクラブチームに行っていたんですけども、港区でもそういうふうに女子ソフトボールのクラブチームをつくってくれたら、中学校にない子たちも行けたりとかしていいのになという声を以前聞いたことがあったんですけども、そういうふうに中学校のクラブではなく外部でできるような取組というか、ちょっとずつ何か考えていращやるかなというのをお聞きしたいです。

○早川教育担当課長 昨年度のこの部会でも少しお話ししたことがあるんですけども、国のほうの方針として、中学校の部活動を地域移管していくという方針というか方向性がありまして、ほかの自治体ではそういう形でクラブチーム、外部の方の指導者で、その地域でやっていくというそういう形が進んでいて、大阪市のほうでも今後、それが検討されていくんですけども、まだなかなかそこまではいっていないというのが状況なんですけど、今後、先ほどの教員の働き方改革とも関連することなんですけども、そこで負担も大きくなっているんで、今後、検討を進めていくことになっています。ただ、具体的にはまだ港区のほうでは進んでいないのですが、今後の方向性としてはそういうことです。

○染矢議長 私からもいいですか、すみません。その外部コーチについて、ちょっと保護者間の中でお話が出ていた内容になるんですけども、やはり学校の先生たちが大変そうなので、できることがあれば自分たちも何かお手伝いできたらという保護者の方がいらっしやうとします。ですが、その方がそういうふうに働きかけてお手伝いさせてほしいということを出したら、私も具体的にこれがあれがということまではお聞きはできなかったんですけども、結構ハードルが高いと聞いたことがありまして、教員免許を持っていないと駄目とかというような規定はあるのですか。

○早川教育担当課長 今の地域移行とは別で、今ある外部の指導者を登録して、たしか去年かおとしのこの部会でも、当時、市岡中学校の校長先生のほうからあったんですが、確かにそういう登録をするには今、詳しく資料は持っていないんですけども、あったと思います。それとは別の考え方として地域移行というのが今、出てきているということなんです。

○染矢議長 前回もお話を聞かせてもらったんですけども、外部コーチを地域に関係する方をお願いしてという部分で、結局そのハードルが高いから地域移行にしたのかという部分に関してはどういうふうにお考えなんです。せっかくお手伝いしたいという方がいたにもかかわらず、その方たちにはやはりハードルが高いというので諦めざるを得なかったというのもありつつ、その方たちが逆に我が子たちが卒業して行って、地域に住んでいる以上は地

域の人間なので、逆にその方たちがまたそういう気持ちがあればお手伝いはできるというような考え方でいいということですか。

○山口区長 これ部活動支援員という枠組みと、地域の部活動移行は、全然違っていきまして、例えばどの部活を地域に移行するかって、これ結構環境の差があるんです。例えば、地元で盛んなスポーツが違っていたりとか、そういうもともと大人向けのチームがあって指導者がいっぱいいるとか、バレーならいけるとかいろいろあるんです。

今、港区のまずは学校が主体の話でもあるので、校長先生方がどういうふうに部活動を、例えばまず一つ、集約化という話もあるんです。拠点化というんですけれども、人数が少な過ぎてチームがつかれないので一緒に練習したりは今もやっていると思います。それを将来的に地域で指導できる環境があるから地域移行していきましようといったときにはそういった委託になるのかな、多分募集をすると思うのです。そのときはまた違う基準、今の部活動の指導員とはまた違う形にはなると思います。

また本当にその制度がまだ整備できていないので、そういう声もあるということも踏まえて、また意見も言って制度構築していきたいと思っています。ここは区だけで決められないところもありまして、教育委員会にまた伝えておきます。ありがとうございます。

○染矢議長 ありがとうございます。

では、この件に関しまして何かご意見、ご質問などはありませんでしょうか。

せっかく小学校、中学校の校長先生が来てくださっているのです、先ほども話に出ました教員の働き方改革について、学校長のお考えをちょっとお聞かせいただけたらと思います。お願いいたします。

○西中校長 築港中学の西中でございます。

教員の働き方改革ですね。私たちが若い頃、いわゆる金八先生に憧れてなった世代だと思うんです。深夜12時など夜中に走り回っているとかをやっていて、あの頃、今もしカウントしたら、1か月当たり残業100、150で利かなかったと思いますが、200ぐらいはいていたんですかね。今そんなんですと、若い良い先生は集まらないです。僕らが若い頃、クラブをやっていたら、土日、練習試合、1日やっています。大体そうすると軽く150を超えます。今、プレイヤーズファーストで子どもたちにはそんなに長いこと引っ張らないで、平日でマックス2時間程度、土日でも試合がないときは3時間程度で科学的に効率のいい部活動をしなさいと、平日には週5日あるうちの1日は休みを取りなさいと、土日に関しても1日は休みを取りなさいという形で大阪市のほうで決められて、各学校でプレイヤーズファースト

ストを守ろうと。もちろん試合が土日にあるときは、その代わりに平日に2日休むとかいう形でやっています。

うちの学校は特にそうなんですけれども、生徒数が減っていますので、あまり長いこと部活をやりますと子どもが倒れますので、物理的にはできないんです。大規模の学校でしたら、やっぱり場所の取り合いとかがあるので若干長くなると思いますが、以前と比べて大分、中学校の部活で残業する時間は減っていると思います。子どもにとってそれがいいのかわいのかは歴史がまた検証してくれるかなと思っていますけれども、今、逆に部活をしたがらない若い先生が増えているというのも区で悩みだと聞いています。我々のときは全員顧問制みたいな形で、どこかの部活を持たなかったら駄目だという雰囲気があって、自分もやったことのない部活を、野球部とかテニス部とかをやったりしていたのですけれども、今はそんなの、やらなあかんのという感じで、逆にその辺がよその区の話なんですけれども、悩みになっているところもあるとは聞いています。いずれにしろ、子どもたちのためにいい方法、いい方向でやっていこうというのはみんな一致した思いだと思いますので、その辺では学校改革に進んでいるところだと思います。

以上です。

○染矢議長　ありがとうございます。

○木村校長　働き方改革というところで、小学校は部活動はやっていないんですけれども、結構先生方、遅くまで仕事されています。というのは、私、もともと中学校の教員をやっていたんですけれども、授業が例えば社会科ですと、4クラス持っていたら4回同じ授業をするんですよ。でも小学校の先生って基本、5年1組の担任なら、そのクラスの理科も社会も国語も算数もということで、となると、準備する時間がすごくかかるので、こういう授業の準備というのはもう切りがないんです。やればやるほどうまくいって、もっとやろうかなとなるので、どの辺で区切りをつけるかというところなんですけれども、それでちょっと遅くなりがちというのが一つ。

それと、今、働き方改革というのがすごく言われる中で、行事の精選というのをすごく言われるんです。例えば、運動会なんかでも、昔でしたら結構な時間をかけて準備をやって取り組んでいたのが、その中で先生と子どもが一緒になって一つの目標に向かって頑張ってやり切った、よかったなというので子どもらが先生の言うことを聞いて、ふだんの日常生活指導が楽になるというんですか、この先生の言うことは聞かなあかんみたいな感じになるんですけれども、そういう例えば運動会、この時間だけとか、もうこの行事はなしとなった

ら、子どもがふだんの生活の中で、この先生の言うことは聞かなあかんとか、ちゃんとやらあかんという気持ちが育ちにくいと、いろいろなトラブルが起きる、そのトラブルに対して先生が指導してもなかなか言うことを聞かない、こじらせて親が言ってきたら、もう夜も対応しないといけないというので、減らそうとしてかえってしんどくなっているという部分があるので、そのあたりのバランスをどう取っていくかというのがやはり小学校は難しいかなと思います。

以上です。

○染矢議長　ありがとうございます。

それでは、これまでの議題全体を通してほかにご意見などはありませんか。

○山口区長　すみません、少し補足をさせていただきます。私、最近、この本（「先生がいなくなる」）をずっと読んでいまして、やはり少子化に伴って、いわゆる就労人口という担い手も減っている。どこも今、労働者不足の中で、特に先生が人気なくなっていて、倍率が2分の1に落ちている。しかもなかなか続かないみたいなのところがあって、そういった状況もあるというのをまず知っておいていただきたいと。先生というのは憧れのみながなりたくて何回も採用試験を受けてという職業とちょっと違ってきてしまっているという残念な状況がある。あとそもそもの労働力人口が減っているというのがあります。

学校適正配置の話が出てくると、どうしても子どもの数の話に終始してしまいがちなんですけれども、実のところ、私も小規模校の校長をやっていて一番危機感を持っていたのが、隣のクラスがない小学校、要は単学級の小学校の校長をやっていて、先輩とセットにして3年の担任をしてもらっていろいろ教えてもらいたいなOJTの機会が著しくなくなっていく中での若い教員を育てられないという悩みの種がありました。

そこはいろいろな教務主任に入ってもらったり、教頭先生に見てもらったりいろいろしていたんですけども、だんだんそこら辺もしんどくなってきているというところもありますし、今はすごく学校が頑張っていて、どこの小規模校も保護者の方、みんな一様におっしゃっていたのは、いや、今の学校好きやし、子どもは喜んで通っていますという声が本当にどこも多かったんです。

すごい頑張っているなと思う反面、ここから先、それがずっと続くわけではないというしんどさとか、あと再任用でどうしても若い先生とかが足りない、教員が足りないものだから、年配の方に頑張ってまた現場に出ていただいたりとかしていて、それだと、やはり子どもたちと走り回るみたいなのところが若干しんどいし、私も知り合いの先生で70歳で

非常勤で働いている先生がいてはるんですけれども、しんどい、しんどいとか言いながらやっておられて、すごく若い先生にいろいろ教えてもらえるという面ではありがたい存在なんですけど、学校現場というのがなかなかしんどくなっている。一方で、働き方改革であればあかん、これはあかん、ちょっと削っていこうみたいなところもあって、多分すごく今、学校運営は苦勞されているのだろうというふうに思っています。

区役所としては、しっかりいろいろな形でバックアップもしたいと思うんですけれども、一定、学校再編の話が出る裏のところでは、そういった先生たちの課題というのものもあるというのは知っていただけたらと思いますし、もちろん反対というか、思いのある方たちもいると思うんですけれども、そういった視点でもご理解いただかないといけないかなと思っています。

私からは以上です。

○染矢議長 ありがとうございます。

本日はせっかくの機会ですし、まだご発言されていない委員の方々からも一言ずつ、できたらご意見をいただきたいのですが。

また、本日の議題に関わらなくてもいいので、何かご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

リモートで参加の方もいかがでしょうか。挙手いただければと思います。

○ヴィダル副議長 すみません、度々。築港エリアの小学校・中学校の人数等のことでなんですけれども、今のところ、説明会もまだホームページでということだったんですけれども、船員病院の跡地が動かないままでいろいろ東京に行っていただいたりとか、話を早く進めるべくご尽力をいただいているのは非常に承知した上なんですけれども、まだやはり進捗はどのような感じでしょうか。

○山口区長 今ちょっと言える状況ではないんですけれども、少しずつ動きはありますので、またお知らせできるタイミングには皆さんにお知らせしたいと思います。止まっているということはありませんので。ありがとうございます。

○染矢議長 ほかにご意見もなさそうなので、すみません、それでは時間も参ってきましたので、これで本日の議題を終了したいと思います。

委員の皆様のご協力のおかげで、スムーズな進行ができましたこと、また今年度1回目の区政会議で一旦任期ということで、今回の部会をもちまして議長は最後になります。皆様のおかげで無事務めることができました。これまでご協力いただき、ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

○長谷川窓口サービス課長代理 染矢議長、これまでの議長としての議事進行、本当にありがとうございました。

委員の皆様にはご案内申し上げますように、7月6日木曜日午後7時より港区区政会議全体会議をこの場所で開催しますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

本日の資料は全体会議でも使用しますので、お手数をおかけしますが、ご持参いただきますようお願いいたします。

なお、関係者の方々は次回の全体会議には出席されなくても結構でございます。

それでは、これで港区区政会議こども青少年部会を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。